

笑顔をもる定期便(圧着ハガキ) 健常者の家族向け

ハガキ・宛先面



開封前に宛先をご確認ください。
誤配達の場合は、お手数ですが「誤配」と表側へ記入し
未開封のまま郵便ポストへ投函をお願いいたします。

笑顔をもる
定期便

このご案内は8月18日時点の情報で作成しています。



SOMPOひまわり生命保険株式会社

〒163-8626
東京都新宿区西新宿6-13-1 新宿セントラルパークビル

お問い合わせ先 ☎ 0120-563-506

受付時間:月～金 9:00～18:00 土 9:00～17:00
(日曜日、祝日および12月31日～1月3日は除きます)

差出人:SOMPOホールディングス株式会社 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
返送先:〒163-8672 日本郵便株式会社 新宿郵便局 郵便私書箱第213号



ハガキ・裏面

当社では、「認知症に備える・なってもその人らしく生きられる社会」を
目指し、年1回「笑顔をもる定期便」をお届けします。「笑顔をもる
定期便」では、認知症に関する「気づき」や「お役立ち情報」をご紹介します。

認知症の初期症状
！ 専門家は
こんなことから気づきます

専門の先生がたは、何気ない会話の中で認知機能障害の早期発見の
手がかりとなるものを見出すことがあります。それはちょっとした反応
のズレや、会話のテンポの変化など、微細な今までと違う反応です。

最近どんなニュースがありましたか？
などの問いに対し、「ニュースはいろいろ
ありますからね～」などと、**具体的なイベ
ントが出てこない。**



年齢を聞いても「年を取りすぎて忘れてしまっ
たね～」などと、**具体的な数字が出てこない。**
近くにご家族がいる場合、そちらを振り向い
て確認を求める動作も認知症を疑うサイン。

“猿も木から落ちる”など**比喩的なことわざ**
の意味を尋ねると、「猿が落ちた」と文字通
りの解釈しか行わず、ことわざの意味である
回答にはたどり着かないことがある。



認知症の初期は、上記のような具体的な答えを求められる質問など
に躊躇、あるいは話をそらす様子が見受けられるようになります。
「そういえば今までと違う」と感じたら、専門家に相談してみませんか？

中面もご覧ください



笑顔をももる定期便(圧着ハガキ) 健常者の家族向け

ハガキ・宛先面から開いた中面①

郵便ハガキ

ご家族連絡先登録制度 でお問い合わせや書類請求がスムーズに!

8月18日時点の情報を表示しています。

ご契約情報

保険種類名	無解約返戻金限定告知骨折治療保険
証券番号	
契約者名	
被保険者名	

ご家族登録情報

氏 名	
住 所	宛先に同じ
生年月日	
電話番号1	
電話番号2	
メールアドレス	

登録情報の確認をお願いします

お客さまは、ご契約者様からご家族連絡先として登録されています。
ご契約者様に代わって、次のような対応が可能です。

契約内容の
お問い合わせ

例

- 保障内容
- 各種金額の試算
- ご請求手続きの履歴

手続き書類の
取り寄せ

例

- 改姓
- 契約者の変更
- 受取人の変更
- 保険料振替口座の変更

制度利用時に登録情報を確認させていただくことがありますので、登録内容に誤りや変更がないかご確認ください。

登録ご家族の改姓・氏名の訂正

宛名面に記載のお問い合わせ先にご連絡ください。
※登録ご家族を別の方にする場合は、ご契約者様からの連絡をお願いします。

氏名以外の訂正または変更

〈ご家族登録情報用サイト〉に以下からアクセスのうえ、訂正・変更をお願いします。
宛名面に記載のお問い合わせ先でも承ります。

スマートフォンの場合は、左のコードを読みとってください。
パソコンやタブレットの場合は、以下のURLを入力してください。
<https://www4.himawari-life.co.jp/HZN01/>

保険料の振替不能時にはご契約みまもり便をお届けします!

当社の認知症保険には、業界初となるMCI（軽度認知障害）に対する保障を組み込んでいます。
「軽度認知障害一時金」お支払い以降、保険料振替不能時には大切な保障が途切れないように、ご家族にもお知らせします。

ハガキ・宛先面から開いた中面②

インタビュー 「物忘れ外来」へ
行ってみよう!

医療法人社団 爽樹会 樹のはなクリニック 理事長 奈良岡 美恵子 先生

「物忘れ外来」とはどんなところ?

物忘れ外来では、その物忘れが年齢相応なものか、それとも何かしらの病気が隠れ、検査できちんと調べたほうがいいのか、振り分けをします。例えば、急な物忘れなどは、転んで頭を打ってできた硬膜外血腫などが原因という場合もありますから、一概にすべての物忘れが認知症だとは言いえないわけです。

ですから、物忘れ外来へは健康診断を受けるつもりでいらしてください。私はそうして来てくださった方と会話しながら心を通わせ、「大丈夫ですよ、あなたは」と言って差し上げたいとも思っています。

行くべきタイミングはどんな時?

こんな症状が出たらではなく、単純に自分が気になってから大丈夫。

また、ご家族の方にも、ご本人の様子に目配りをしてほしいですね。いつもの内服薬がたくさん余っていたとか、同じ洋服ばかり着ている、同じものが冷蔵庫に入っていたなど、そんな時はタイミングです。もちろんプライドを傷つけないように「健康診断へ行こうよ!」という声かけでいかがでしょう。

物忘れ外来の選び方、探し方は?

もし、かかりつけ医がいるのなら、まずはご本人が信頼しているその先生に相談してみましょう。そこから、その地域の「認知症サポート医」や「物忘れ外来」などにつなげてもらうのがおすすめです。

ごく初期の認知症は、年齢相応の物忘れと見分けがつきにくいものです。このくらいの物忘れは年のせいだから、と思う前に行ってみませんか?もしかしたら新しい発見がそこには待っているかもしれません。



もともと健康で主治医がいなくても、いきなり大病院でMRIではなく、まずお住いの地域の病院へ行き、そこで会話などから判断し、もつとよく調べた方がいいよとなれば、紹介状を持って大きい病院に行くのが理想のフローですね。

診察は?どんな問診や検査を受けるの?

当院では、問診票にあらかじめ記入いただいた困りごとや心配ごとを参考に、問診というよりも「会話」をすすめていきます。話しているうちに、話が広がらない、続かない、同じ質問が繰り返されるなど、気になる点が見えてきますので、それが診断材料になっていきます。

認知症は慌てなくてもいいんです。それよりも周りが心配のあまり「これはできないからダメ」などと言っていると、ご本人は「私ってダメなんだ」と、どんどん落ちてしまいます。

ですから治療のポイントとしては、『ご本人と家族との関係性』が大事で、それが進行を抑えることにもつながると考えています。私はご家族の気持ちをフォローしながら、ご本人には可能性を広げるお手伝いをしていくつもりで診ています。

元気でいるための秘訣はありますか?

いま健康なのであれば、ウォーキングなどの運動を習慣にしましょう。もうひとつ大事なことは、何かやってみたいことを見つけ、知らない自分を発見することです。遅すぎることはありません。そうした生活の中に、健康診断のつもりで「物忘れ外来」を利用してみてください。そこには良き話し相手となる先生がいるのですから、これからの自分の未来について一緒に話しましょう。